

バロックリュートの時代

中川祥治リュートリサイタル元年



2019.5.26 (日) 14:00開演 (13:30 開場) HITOMI ホール

入場料: 4000円 (当日 4500円)

主催: ナカガワ・プロジェクト
後援: 名古屋市、名古屋ドイツ会

バロックリュートの時代 中川祥治リュートリサイタル元年

2019年5月26日(日)14時00分開演(開場13時30分)

会場: HITOMI ホール、入場料: 4000円(当日4500円)(全自由席)

リュートは中世から古典派の初期に至る長きにわたり、ヨーロッパ各国で愛され続けた弦撥楽器です。その間の音楽の変遷に合わせて、楽器の大きさ、調弦、奏法も変わって行きました。17世紀初頭、バロック音楽が勃興した頃、リュートは最後の調弦の変化を見ました。そしてその調弦法は19世紀初頭、リュートがしばしの眠りに就くまで使われました。その調弦法とは、二短調の

主和音と1オクターブの音階で構成される方法で、このように調弦するリュートを、今日ではバロックリュートと呼んでいます。今回のリサイタルでは、バロックリュートの黎明期であるフランスの作品、その影響を受け発展していったドイツの作品、そして初期の古典派スタイルの作品を紹介し、「バロックリュートの時代」を俯瞰してみたいと思います。



中川祥治、バロックリュート

リュートと古楽演奏を大橋敏成に師事。スイスのバーゼル・スコラ・カントルムに学び、バロック・リュートと通奏低音を、ホプキンソン・スミス、リュート・ソングをアントニー・ルーリー、中世リュートをクロウフォード・ヤングに師事。テレビ・ラジオ出演、リサイタル等をはじめ、日本各地、中国、オーストラリア、イギリス、スイス、アメリカでも演奏活動を行う。また作曲家として商業音楽、学校教材音楽、ギター音楽などの分野で活動も行う。

プログラム:

ゴータイエ/組曲二短調
ムートン/シャコンヌト長調
ロイスナー/組曲短調
ヴァイス/ソナタ第7番ハ短調
ファルケンハーゲン/ソナタ第4番ト短調
コハウト/リュート協奏曲へ長調 ※ 他

※

ヴァイオリン:
時本さなえ



ヴァイオリン:
鈴木崇洋



チェロ:
波多和馬



曲目を変更する場合がございますのでご了承下さい。



〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号



きれいな空気
瞳にも



メニコンは禁煙運動を推進しています

会場のご案内

J R: 千種駅地下改札口方面、5番出口より徒歩約4分

地下鉄: 東山線千種駅5番出口より、徒歩約4分。
桜通線車道駅4番出口出てすぐ左折。徒歩で約7分。

お車: 駐車場はございませんので、お近くのコインパーキングをご利用ください。



●チケットのお求めは

- ◎e+(イープラス) / で検索またはファミマで直接購入
- ◎愛知芸術文化センター(地下2階) / Tel. 052. 972. 0430
- ◎ミュージアム音楽館(大曽根オズモール) / Tel. 052. 910. 6700
- ◎栄プレチケ9 2 / Tel. 052. 953. 0777
- ◎HITOMIホール(ANNEX事務局) / Tel. 052. 935. 0918(2/26以降)

マネジメント・お問合せ: ミュースクリエート TEL. 052. 910. 6700
主催: ナカガワ・プロジェクト 後援: 名古屋市、名古屋ドイツ会